Product Bulletin IJ4332E
Revision 3, Dated April 2015

3M™ 水性インクジェット用短期白色メディア IJ4332E

定　義

3M™ 水性インクジェット用白色短期メディア IJ4332E は水性インクジェットプリンタで作画する屋内外サイン用途等のインクジェット作画媒体です。

特　徴

- 貼り易いコシのあるフィルムです。
- 平面及び緩やかな 2 次曲面への施工が可能です。
- 再剥離タイプの粘着剤で、剥離時に粘着剤が貼り付け基材に残留しにくくなっております。（ただし全ての貼り付け基材、環境条件について再剥離性を示すものではありません。）
- 高い下地隠蔽性を有します。

製品特性

サイズ	1067mm×20m
	1270mm×20m
コア	2 インチ (内径 51mm)※
	※プリンタ機種によってはフランジへのセットがきつい場合があります。
材質	ポリ塩化ビニル
フィルム色	白色 (不透明)
厚さ (代表値)	0.14mm (粘着剤含む)
粘着剤	感圧型再剥離タイプ
	グレー着色あり
貼り付け温度	10～35℃ (平滑面)
接着力	メラミン塗装板 約 8 N/25mm　(貼付後 48 時間放置)

試験方法

フィルム厚：JIS K 7130　に準ずる。

接着力：JIS Z 0237　に準ずる。

特性における数値は、原則として温度20℃・湿度65%での試験結果を基にしています。

対応インクジェットシステム

- 水性インクジェットプリンタ

  ※お持ちのプリンタで作画性等を事前にご確認ください。

耐候性、耐久性および推奨オーバーラミネートフィルム

日本国内の標準的な環境下で屋外垂直サインに施工した場合に、以下の耐候性を有しています。

推奨オーバーラミネート	耐候性
IJ4116N / IJ4117N	約 2 年

耐候性の数値は弊社試験結果に基づく予想される年数であり、保証年数ではありません。

- インク自体に耐候性を有する場合に限ります。
- 施工方法や使用環境により、この値より短くなる場合があります。

ご使用に際しての注意事項

■ 印　刷

- 作画品質を維持するために、ご使用プリンタの取扱説明書及び技術説明書に従って出力を行ってください。
- 環境(ほこりや潤滑スプレーの使用等)、インク条件により、スポット状の印刷抜けが発生することがあります。特に、ベタ印刷の場合、発生が目立ちます。印刷環境管理、インクの鮮度管理に充分ご配慮下さい。
- 印刷前のメディア表面には指紋、汚れ、傷がつかないようにして下さい。取り扱い時には綿製の手袋等をご使用になる事をお勧めいたします。また、表面を液体等などで洗浄しないで下さい。印刷性に大きな影響が出ます。
- 予め実際に印刷を行い、発色及び乾燥性を確認の上御使用下さい。インク濃度が高く印刷後乾燥が充分でない状態で巻いた場合、印刷面が裏面に密着し、画像にダメージを与えることがあります。可能であれば 230%を濃度の上限としてデータを準備下さい。高濃度（230%以上）印刷される場合、プリンタ本体またはソフトにて、ページ間の乾燥、または用紙カットまでの時間を数分間、あるいはスキャン間の乾燥時間を数秒設ける、または巻き取り機不使用にてご対処下さい。
- 作画品質を維持するために、ご使用プリンタの「ヘッド高さ調整」、「メディア補正」、「ドット位置補正」、「ピンチローラー等清掃」、「自動カット設定オフ」を必ず行ってください。詳しくはお使いのプリンタ取扱説明書をご覧下さい。
- 環境変化、特に大きな温度・湿度差は、端部の反り返り（カール）の原因となります。充分に使用環境に慣らし反り返りを直すか、その部分を除去するか、反り返りの影響のない部分まで引き出すか、何れの対処を行ってからご使用下さい。ご対処のなき場合、紙詰まりやヘッド破損の原因となります。

■ 加　工

- 印刷後は十分な乾燥を行ってください。乾燥不足の場合、移送時に印刷面にダメージが発生することがあります。乾燥はメディアを広げた状態で１日程度室温下で放置してください。長尺品の場合は、印刷面が剥離紙面に接触しないようにゆる巻きにし、風通しの良いところで乾燥を行ってください。
- 屋外での使用の場合は、必ずオーバーラミネートを行ってください。物理的外傷が予想されたり、汚れの付着の予想される場合にも同様です。
- オーバーラミネート時に、圧着が弱いとシルバリング（微小な空気の巻き込みによる白化）の発生や施工後のふくれが発生する場合もありますので、ご注意ください。シルバリングが気になる場合は、圧力を上げて再度ローラーを通すか、ヒートラミネーターで 50℃前後の熱をかけて圧着してください。
- オーバーラミネートフィルムを貼った場合、色相等が多少変化します。予め発色をご確認の上、印刷色を設定して下さい。
- 故意に強く印刷面を擦った場合、インクが剥がれることがありますのでご注意下さい。

■ 施　工

施工は、下記の標準的な手順で実施して下さい。

手順1；貼り付け下地への施工可否判断

- 表面が平滑かつ平面な下地にのみ施工可能。
- サイン、フリート等貼り付け下地として一般的でない下地材への施工や剥離性能を重視するアプリケーションの場合は、事前に貼り付け試験を実施し、粘着剤の残留有無、施工可否を判断して下さい。
- 使用期間を想定した試験施工を一定期間*1 実施し、外観異常(浮き、剥がれ、変色等の有無)がないことを確認し判断して下さい。

- 下記下地へは施工できません。

下地種類	施工不可理由
ポリカーボネート(PC)	気泡発生
ポリエチレン(PE)	接着不足
ポリプロピレン(PP)	接着不足
銅、真鍮、スズ	粘着剤変質
表面に凹凸を有する	接着不足
シリコンコーキング	接着不足、追従不足
シリコンコーキングの近傍	変色
ゴム	ゴム成分移行による変色
コルゲート、リベット	追従不可
3 次曲面	追従不可
石油類*2 が滞留する箇所	外観異常(膨潤、剥がれ等)
常時 65℃以上の高温	耐候性低下、変色

*[1] 使用期間と同期間もしくは半分の期間、または夏など気象条件として過酷な時期

*[2] ガソリン、軽油、灯油、アルコール類等も含む

手順 2；下地調整

下地に付着した土砂、錆、油脂分等フィルムの接着力を低下させる物質の除去を実施して下さい。

下地の状況により、主に以下の 3 種類の方法があり、状況によって最適な方法を実施して下さい。

- 水清掃
- IPA(イソプロピルアルコール)等のアルコール清掃
- ケレン及び下地処理(プライマー塗布等*[3])
  *[3] プライマー等塗布した場合は再剥離性能を有しません。

手順 3；貼り付け

プラスチックスキージー(弊社製 PA-1 等)を使用し、フィルムを十分に貼り付け下地に圧着して下さい。本製品は直貼りのみが可能です。水貼りは推奨いたしません。

手順 4；端部処理

フィルム端部にエッジシール処理(エッジシーラー3950)もしくはエッジシールテープを施します。

施工時の注意事項

- 端部保護及び板面取り付けにおいて、シリコンコーキング材の使用は変色原因となります。端部保護をする場合にはエッジシーラー3950 もしくはエッジシールテープを使用し、板面取り付けはビス止め、両面テープまたは非シリコン系接着剤のご使用をおすすめします。
- エッジシールなしでもインクの流れ、脱落はほとんどありませんが施工場所の環境によっては汚染物質の浸入による汚れや、その他の不具合が発生することがあります。長期間高品質なグラフィックスが必要な場合は、エッジシール処理（エッジシーラー3950）もしくはエッジシールテープをおすすめします。
- 貼り付け基材面温度が 10℃以下の場合、十分な初期接着力が得られません。貼り付け下地が貼り付け温度範囲内であることを確認し施工して下さい。
- 結露し易い箇所は、十分な接着力が得られないことがあります。

■ グラフィックスのメンテナンス

- グラフィック表面を洗浄する場合、研磨剤を含まない中性の洗浄液で水洗いして下さい。
- 推奨オーバーラミネートフィルムにて表面が保護されたグラフィックスは IPA(イソプロピルアルコール)による表面清掃が可能です。但し、グラフィックス端部に IPA が残留しないように十分にふき取って下さい。
- 土砂等の汚れがついたまま、表面を拭くとオーバーラミネートフィルムに傷が付くことがあります。洗浄は最初表面に付着した粒子分を水洗等で取り去り、その後、表面を軽く拭き取る程度にして下さい。
- 一度掲示したものを剥がし、再度掲示する事はおすすめいたしません。

■ 剥　離

- 本製品は再剥離性能を有しております。しかし、全ての下地に対し、有するものではありません。

- 再剥離性能とは粘着剤が下地に残りにくいように設計した性能です。
- 以下の下地からの再剥離性能は有しません。

下地種類
塩化ビニル板
ポリ塩化ビニルフィルム
接着向上表面処理アルミ板
石膏ボード等の基材破壊の生じる下地
劣化又は未乾燥硬化の塗装下地

- 剥離の際には可能な範囲でゆっくりと剥がしてください。すばやく剥がすと粘着剤が基材に残る場合があります。
- 加熱しても剥離できない場合には剥離剤(弊社製 R221 等)を使用して下さい。
- 残留した粘着剤はその量に応じて、IPA（イソプロピルアルコール）もしくは剥離剤(弊社製 R231 等)をご使用ください。

■ 保　管／運　搬

- 鋭角に折り畳んだ場合、画像にダメージが発生することがあります。また、フィルム面を内側にして巻いた場合、ポップオフ（剥離紙からの浮き）が発生しやすいため、移送の場合には、直径 15 センチ程度のコアに画像を外側にして緩やかに巻いて下さい。
- 保存期間は 1 年間ですが、購入から半年以内のご使用をおすすめいたします。
- 以下の条件で保管して下さい。
  - 開梱しない状態、または初期の包装状態。
  - 乾燥した屋内で直射日光の当たらないところ。
  - 直射日光のあたらない、温度 5~35℃、湿度 20～70%、の屋内で、結露を避けて下さい。
  - ロールを積み重ねたり、部分的な圧力がかかったり、重量物を載せることは避けて下さい。
  - 使用後は速やかにプリンタから取り外し、元の袋に入れ、湿気が入らないようにして保管して下さい。

免責事項

- ここで用いている数値は平均的なものであり、保証値ではありませんので規格等の作成には使用できません。
- 廃材は産業廃棄物として処理して下さい。
- この説明書もしくは本件フィルムの使用・使用不能もしくは誤使用によって生じるあらゆる損失・損害に対し、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

その他不明な点につきましては、弊社担当販売員にお問い合わせ下さい。

スリーエム ジャパン株式会社
コマーシャルグラフィックス事業部

Please Recycle. Printed in Japan